

表紙について

題：瀬戸内海：岡山沖方面

瀬戸大橋（与島橋梁部）より岡山市（児島方面）を望む「写真上」。
真鯛の稚魚は、その餌などの関係上、内海の岸壁近くで成長し、一般的には生育に伴い、外洋（太平洋など）に出て行くが、稚魚の養殖・放流を行っていることも、その一因と思われる要素もあるが、近年、瀬戸内海の岡山沖（下津井方面から牛窓・小豆島方面）にも、内海表層の海水温の上昇に起因して、この30余年間における期間内に、真鯛の成魚「写真下」が岡山沖の内海中で生育を続けるようになってきたと考えられる。

画像提供者：中島 伸佳